

令和6年度 横浜緑園高等学校 第3回学校運営協議会 記録

日時：令和7年3月6日（木）15時

場所：本校 N24教室

司会 副校長

記録 広報・授業研究G

- 1 開会
- 2 学校長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 学校運営協議会委員及び学校職員の紹介
- 5 今年度の学校運営について（学校長）
- 6 令和6年度学校評価について（副校長）
- 7 不祥事ゼロプログラムについて（副校長）
- 8 各部会の運営等について（副校長）
- 9 令和6年度年度学校諸活動について（各グループリーダーより）
 - 教務 G
 - ・ 単位制普通科の教育課程について
 - 広報・授業研究 G
 - ・ ICTを活用した授業改善、説明会・学校見学会の充実
 - 進路・キャリア支援 G
 - ・ 本校生徒の進路先、総合型選抜、総合的な探究の時間の体系化
 - 生徒活動推進 G
 - ・ 生徒主体の学校行事の企画運営、部活動の活動計画・状況、分教室との交流拡大
 - 総務 G
 - ・ P T Aと連携した中庭整備、ゴミの分別指導の徹底
 - ・ 危機管理に基づいた安心・安全な学校づくり、不祥事防止
 - 生徒支援 G
 - ・ 遅刻指導の成果、教育相談の現状、校内ルールについて

10 学校運営協議会委員からのご意見

11 協議・意見交換

- 緑園生は、年々よくなっている。入りたい学校になっていると思う。地域に向けて何か発信できればさらに良いのではと思う。
- 家庭も地域も教室である。地域活動も重要だと思います。
- ICTをどう使うではなく、授業を1年を通してどのようにデザインしていくかを考えてほしい。生徒指導のスタンスをしっかりさせて進めてほしい。
- 総合的な探究の時間の探究は、1年で答えが出るものではない。成果物にこだわると総合的な学習の時間と変わらないものになる。
- この3年間で生徒の印象が良くなってきた。各Gの報告を聞き組織的に学校運営をしているのが分かった。授業見学意をして、ICTの有無にかかわらず、工夫された授業は生徒が集中している。
- 制服のルールについては、生徒たちが声をあげられるようになってきていると思う。
- 数多くの活動の中で、教員が疲弊しては本末転倒なのでケアをしっかりしてほしい。ICTはあくまで手段であるが、興味を持ってもらえるように活用してほしい。
- 校内ルールについて生徒が意見表明することは、子どもの権利条約の観点からもいいことだと思う。

12 その他 特になし

13 閉会